

千葉市総合交通政策の「第3次施策の推進計画（案）」の概要

千葉市総合交通政策（平成24年5月策定）

1 目的

公共交通の利便性を一層向上させ、都市の魅力向上や活性化に資する総合交通体系を構築することを目的とする。

2 計画期間

平成24年度～平成33年度

基本方針

都市の魅力向上や活性化に資する交通政策

- 誰もが使いやすい公共交通
- 誰もが安全に安心して利用できる公共交通
- 環境に配慮した公共交通
- 財政状況を考慮した事業の選択と集中

の総合
構築交通
体系

実施計画の策定

施策の推進計画

「千葉市総合交通政策」の施策を計画的に実施するため、短期の実施計画として策定する。

第1次施策の推進計画
(平成24年度～平成26年度)

第2次施策の推進計画
(平成27年度～平成29年度)

第3次施策の推進計画
(平成30年度～平成32年度)

第2次施策の推進計画（平成27年度～平成29年度）

「千葉市総合交通政策」に基づき、34の施策【71事業】に取り組んでいる。

⇒・PDCAにより進捗管理を実施。
(平成29年3月に進捗状況調査を実施。評価は平成30年度に平成29年度決算ベースで実施予定。)

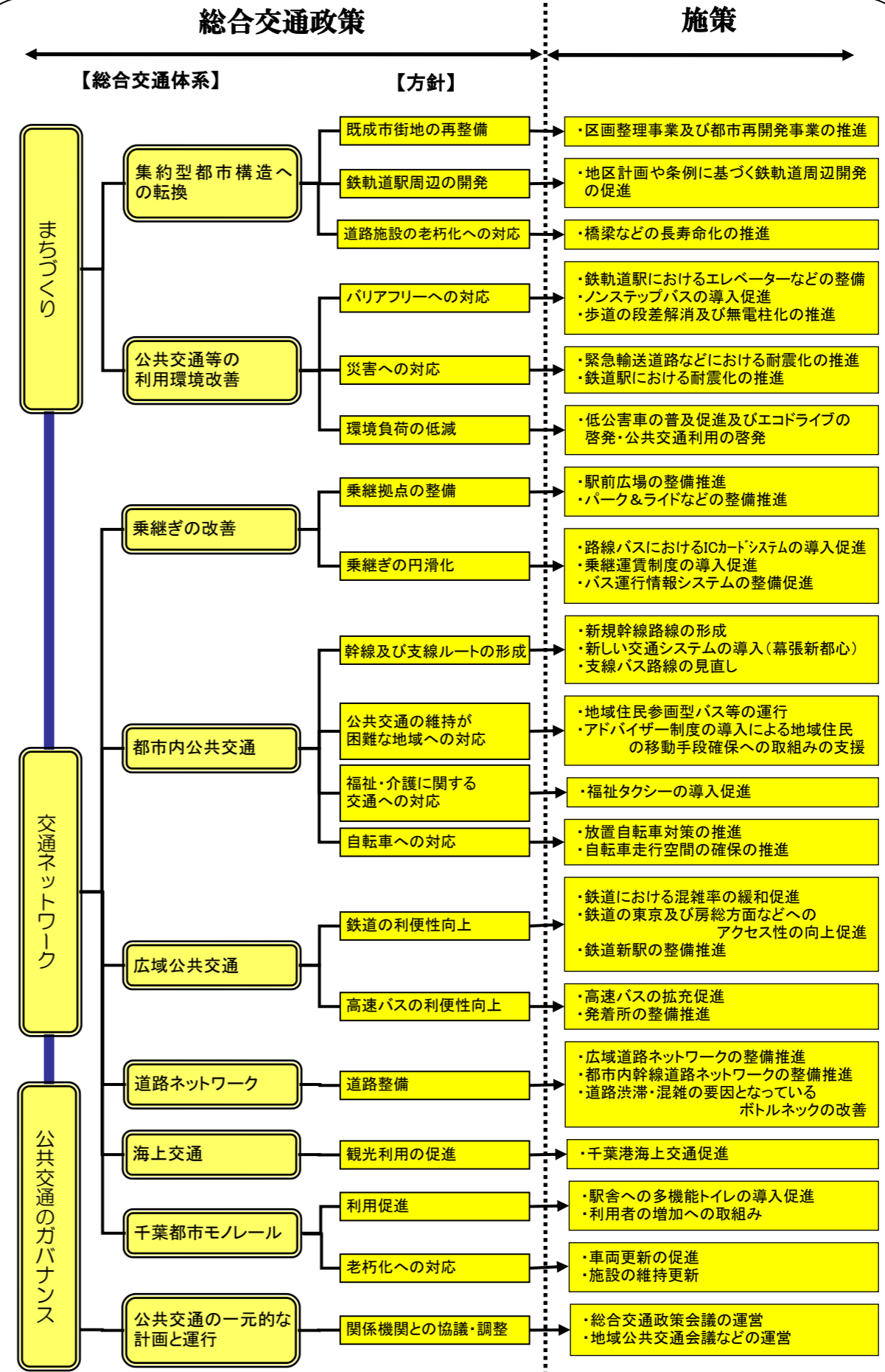
・【71事業】のうち12事業が完了する見込み。

第3次施策の推進計画（平成30年度～平成32年度）

「千葉市総合交通政策」に基づき、37の施策【80事業】を実施する。

第3次施策の推進計画の主な取り組み

- ①バリアフリーへの対応
 - ・鉄軌道駅におけるエレベーターなどの整備促進 <継続事業>
 - ・歩道の段差解消等 <継続事業>
- ②災害への対応
 - ・モノレール車両基地の耐震補強の促進 <継続事業>
 - ・橋梁の耐震化の推進 <継続事業>
- ③鉄道の利便性向上
 - ・鉄道新駅の整備推進 <新規事業>
- ④老朽化への対応
 - ・千葉都市モノレールの車両更新の促進 <新規事業>



第3次施策の推進計画ではこの37施策に取り組めます。